

平成 23 年度

# 第49回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 平成 24 年 2 月 21 日 (火)

13:30 ~ 14:30

式場 津田駒工業株式会社 大会議室

## 式 次 第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与  
個人表彰  
功労者表彰  
学校表彰
- 3 助成金交付  
学校助成
- 4 表彰状授与及び奨励金交付  
研究奨励
- 5 あいさつ  
石川県科学教育振興会会長 菱 沼 捷 二
- 6 来賓祝辞  
石川県教育委員会教育長 竹 中 博 康
- 7 受賞者代表謝辞
- 8 閉式のことば

# 受賞者等の紹介

## 1 個人表彰

金沢市立三馬小学校 教諭 中村 晶子

金沢市立西小学校を初任に、同瓢箪町小学校、同明成小学校、同南小立野小学校を経て現在に至る。研究面では、石川県奨励研究や越馬徳治科学教育研究奨励で「子どもが創る授業」等の実績がある。平成21年度石川県理科教育研究大会金沢大会、全国小学校理科研究大会東京大会において実践提案を行っている。金沢市児童科学教室指導員、金沢市教職員研修「理科実技研修」講師、金沢市小学校教育研究会理科部会会報「知の創造」編集委員、「理科の学習」編集委員として、幅広く理科教育に貢献している。

金沢市立泉中学校 教諭 坂本 雅

金沢市立港中学校を初任に、同芝原中学校、同紫錦台中学校、ロンドン日本人学校を経て現在に至る。研究面では、文部省認定教科書編集協力員として実験方法に関する研究や全国中学校理科教育研究会における理科学習に関する研究発表等の実績がある。指導面では、金沢子ども科学財団中学生サイエンスクラブ指導員を長年にわたり務めている一方、高峰賞個人賞・学校賞の受賞にも貢献している。また、平成21年度より石川県理科教育研究協議会事務局として、理科教育の振興に貢献している。

石川県立金沢泉丘高等学校 教諭 米口 一彦

石川県立小松明峰高等学校を初任に、石川県立小松高等学校を経て現在に至る。北信越理科教育研究大会における「身の回りの放射線」、「最小のゴミ袋熱気球を目指して」をはじめ、数多くの研究実績がある。指導面では、物理部顧問として高校生による科学の祭典や中学生サイエンスフェアへの参加・指導にあたっている。また、石川県高等学校教育研究会理化部会の理事や物理実験書検討委員長を歴任し、理科教育の振興に貢献している。

## 2 功労者表彰

七尾市立高階小学校 校長 谷口 忠

津幡町立津幡小学校を初任に、同種小学校、中島町立笠師保小学校、鳥屋町立鳥屋小学校、中島町立豊川小学校、中島町教育委員会派遣社会教育主事、七尾市立石崎小学校教頭、中島町立熊木小学校教頭、七尾市立中島小学校教頭、七尾市立北星小学校校長を経て現在に至る。「中島町の植生」の調査研究や、鹿島郡理科指導員・植物観察の講師としての指導など、長年、地域の理科教育の振興に貢献している。平成22年度より、七尾市理科教育研究会副会長を務めている。

金沢市立高岡中学校 校長 西崎 辰雄

金沢市立野田中学校を初任に、同高岡中学校、同緑中学校、同金石中学校、金沢市教育委員会学校教育課指導主事、金沢地方教育事務所指導主事、金沢市教育委員会学校指導課主任指導主事、同主席指導主事、金沢教育事務所管理課主任管理主事、同管理課長、金沢市立額中学校校長、金沢市教育委員会学校職員課長、同教育次長兼学校職員課長を経て現在に至る。長年、自作教材の開発、理科室環境整備に努め、高峰賞学校賞の受賞に貢献した。

石川県立金沢伏見高等学校 副校長 麻多 真

石川県立小松北高等学校を初任に、同金沢向陽高等学校、同羽咋高等学校、同金沢泉丘高等学校、同小松高等学校教頭、同羽咋高等学校教頭、同金沢西高等学校副校長を経て現在に至る。この間、金沢泉丘高等学校と小松高等学校のスーパーサイエンスハイスクールの立ち上げに尽力し、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における高大連携」の論文等を発表した。また、石川県高等学校教育研究会理化部会副会長を務め、理科教育の振興に貢献している。

### 3 学校表彰

#### 金沢市立田上小学校

(校長 山下良夫)

当該校は、平成14年度より金沢大学との連携・支援をうけ、里山学習に取り組み、児童の自然科学の目を育む活動に力を注いでいる。「いしかわ学校版ISO」の認定を受けた環境教育の取り組みや、児童会の取り組みにより金沢市の花いっぱいコンテストで優秀賞を受賞し、また地域の自然環境についての学習がユネスコスクールに認定されるなど、幅広い活動を行っている。平成22・23年度は、金沢市委託事業「言語活動・理数教育推進校」の指定をうけ、生活科・理科・算数の公開研究発表会を行い、その成果が認められている。

#### 金沢市立長田中学校

(校長 出雲明子)

当該校は、「身近な自然現象に興味関心を持ち、観察・実験を通して自ら探究する生徒の育成」をテーマとして研究を進めている。自ら探究するためには「理科が好きになるような授業の工夫」、「生徒が自主的に活動できる環境づくり」「存在感のある授業」が大切だと考え、学習規律の徹底、わかる授業、観察・実験の工夫、学習環境の整備などに取り組んでいる。また、自由研究において、理科教員によるアドバイス、夏季休業中の理科室の開放、実験器具等の貸し出し等を行い、科学研究を奨励している。その結果、石川県児童・生徒科学作品コンクールでは、県知事賞をはじめ数多くの受賞に生徒を導いている。

#### 金沢高等学校

(校長 本田吉夫)

当該校は、科学部の活動を中心に生徒の科学研究、啓発活動に積極的に取り組んでいる。石川地区中学高校生徒化学研究発表会において、10年間に26件の発表を行い、「片山津温泉水で作る人工いくら」、「石川産砂鉄で良いナイフは作れるか」など、地域に密着したテーマにも取り組んでいる。平成23年度全国高校総合文化祭では、県代表として研究発表を行った。また、青少年のための科学の祭典や中学生サイエンスフェアなどの校外行事にも参加し、科学実験の演示や指導を行い、小中学生に対する科学への啓発活動にも取り組んでいる。

### 4 学校助成

#### 宝達志水町立相見小学校

(校長 鍋島澄夫)

#### 宝達志水町立押水中学校

(校長 橋本 衛)

#### 石川県立羽咋高等学校

(校長 向 宏)

平成24年度に羽咋で開催される第49回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

### 5 研究機関助成

#### 石川県教育センター

(所長 宗末勝信)

学習指導要領改訂の柱である理数教育の充実に向け、小学校理科実験指導の中核となる人材育成のため、継続的な研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

## 6 研究奨励（※は研究代表者）

### 〔優秀賞〕

#### 光センサーと無線モジュールを利用した重力加速度測定装置の開発とその教育実践

金沢市立工業高等学校教諭 末栄 良弘

#### 子どもが創る理科 ～実感を伴った学びをめざして～

金沢市立泉野小学校教諭 室木千恵子\* 金沢市立三馬小学校教諭 中村 晶子  
金沢市立小立野小学校教諭 矢知加奈恵

### 〔優良賞〕

#### 子どもが主体的に知を創造，更新していく理科学習 ～小学校高学年エネルギー領域の研究～

金沢市立中央小学校教諭 北村 弘樹\* 金沢市立三和小学校教諭 戸田 真実  
金沢市立中央小学校教諭 常光 史明 金沢市立大野町小学校教諭 永井 重輝  
金沢市立杜の里小学校教諭 大井山 武 金沢市立木曳野小学校教諭 山口 裕樹  
金沢市立米丸小学校教諭 田井 和基 金沢市立中央小学校講師 中野 岳央

### 〔佳良賞〕

#### 子どもが主体的に知を創造，更新していく理科学習 ～小学校中学年エネルギー領域の研究～

金沢市立小坂小学校教諭 久野 将義\* 金沢市立田上小学校教諭 濱田 貴宏  
金沢市立三和小学校教諭 戸田 真実 金沢市立味噌蔵町小学校教諭 筒井 邦治  
金沢市立夕日寺小学校教諭 平木 貴裕 金沢市立長田町小学校教諭 横川 竜也  
金沢市立田上小学校教諭 竹田 嘉徳

#### 既習を生かし実感を伴ってエネルギーについての 見方や考え方をとらえる単元の工夫 － 4年「電気のはたらき」の実践から－

金沢市立三和小学校教諭 戸田 真実

#### 感動ある理科学習をめざして ～3年生における3つの場面で 見方や考え方を変容させていく理科学習の工夫～

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校教諭 岩崎 誠

